



<学生企画>スポーツ現場におけるリスクと医療を学ぶ スポーツボランティア講習会を開催

横浜市立大学では、ボランティア支援室学生スタッフ Volunch^{※1}（以下、Volunch）と医学部学生団体 YDC^{※2}（以下、YDC）の学生が協働して企画したスポーツボランティア講習会を開催します。この講習会は、[東京 2020 応援プログラム](#)（クリックするとサイトに遷移します）に承認されています。

東京 2020 大会などのスポーツ現場におけるリスクや医療の知識をボランティアスタッフが予備知識として備えることで、観客にとってより安全な運営が可能となります。それを踏まえて、Volunch と YDC はこれまでの活動の経験と実績をもとに、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック及びスポーツ大会等の現場におけるリスクと医療・健康対策」をテーマに講座を企画しました。スポーツボランティアに興味を持つ学生や市民を対象とし、適切な医療の知識や応急手当のスキルを受講者に身に付けてもらうことで、スポーツボランティアの現場における事故等を最小限に抑えることを目的としています。

横浜市立大学スポーツボランティア講習会

オリンピック・パラリンピック及びスポーツ大会等の 現場におけるリスクと医療・健康対策講座

日 時：平成 31 年 1 月 12 日（土）14：00～17：00

場 所：横浜市立大学金沢八景キャンパス

YCU スクエア 1 階 ピオニーホール

対象者：学生及び地域住民

後 援：横浜市金沢区

内 容：第 1 部 医療・健康対策（講義）

第 2 部 応急手当グループワーク & 交流会



〇注目ポイント

- 1 学生スタッフ Volunch のアイデアと医学部学生団体 YDC の応急手当指導のコラボ企画
- 2 医学部生の指導で実際に AED と人工呼吸の実習ができる、実践を意識した講習会
- 3 地域の方や学生との交流会を行い、幅広い「スポーツボランティア」のネットワーク構築

※1 学生スタッフ Volunch

ボランティア支援室学生スタッフ「Volunch」は有志団体で、学生とボランティアをつなぐための活動をしています。自らも積極的にボランティアに参加しながら、「ボランティアの楽しさを発信し、地域と市大生をつなげる」「ボランティアに参加することで自分の経験値をあげる」、この二つを目標に掲げて活動しています。

※2 医学部学生団体 YDC (Yokohama Dream Catcher)

医療の仕組みと適正利用を広めるために、「救急車不足や医療機関の使い分け」「熱中症の予防と対策」「感染症と予防接種」など保健体育や理科の内容も盛り込んだ授業を、小中学校に向けて行っています。この活動を通して学生自身も医療の現状を学び、良き医療者となることを目指しています。

※取材をご希望の方は、前日までに以下の問い合わせ先にご連絡下さい。